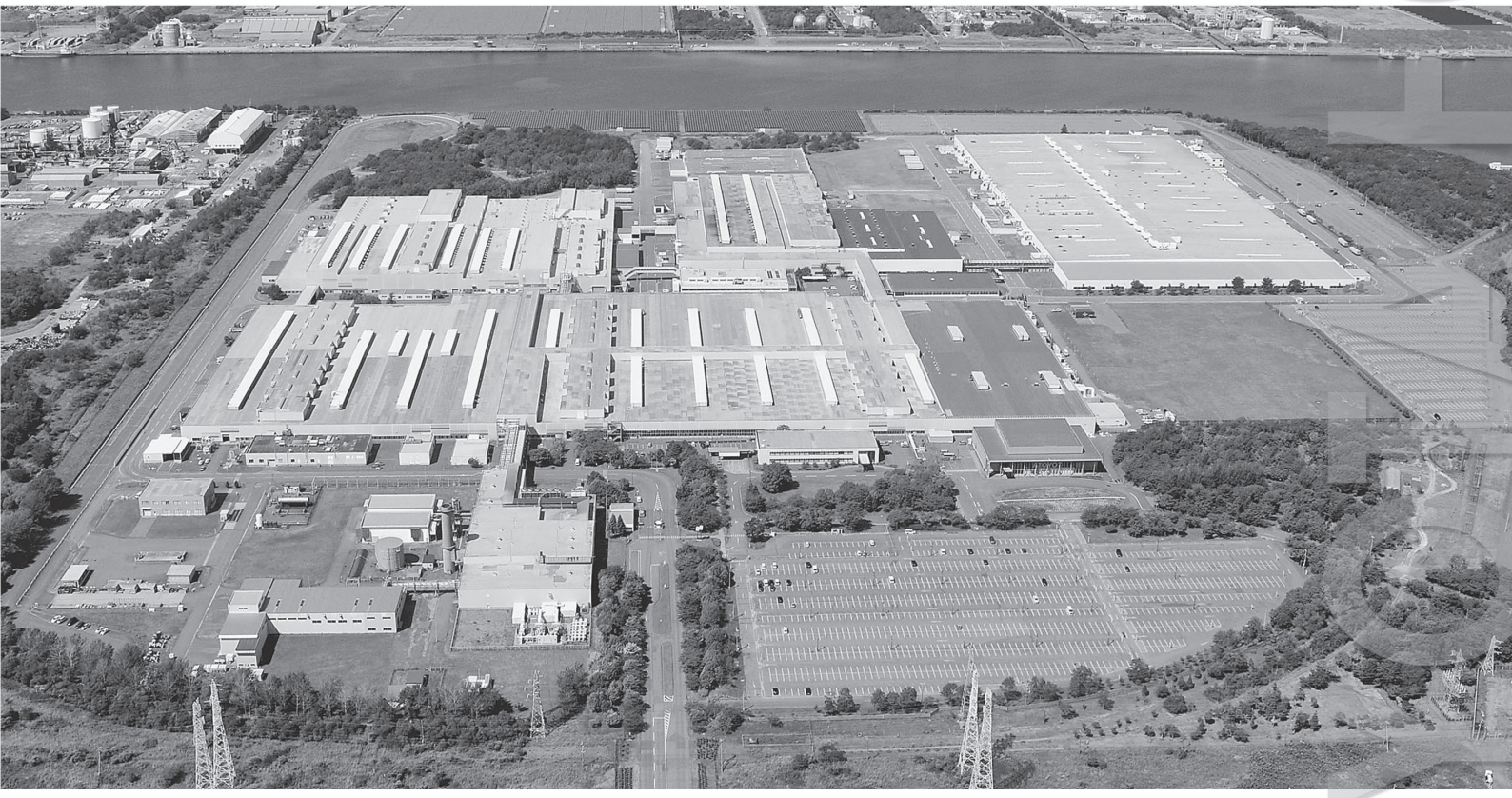
HOKKAIDO

会社概況



トヨタ自動車北海道株式会社

TOYOTA HOKKAIDO

HOKKAIDO

【目次】

基本理念・環境方針…… 1
会社概要・会社沿革…… 2
役員・会社組織…… 3
売上高の推移･従業員の推移･勤務形態…… 4
製品及び生産量…… 5
製品出荷先・主な海外出向先…… 6
調達・工場レイアウト・厚生施設…… 7
周辺図…… 8
環境保全活動・社会貢献活動…… 9
部活動・苫小牧市の紹介……10

【基本理念】

1．内外の法およびその精神を遵守し、社会から信頼される企業市民をめざすとともに、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
2．クリーンで安全な製品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
3．新技術の開発に努め、お客様の要望に応えた品質・価格の製品をタイムリーに提供する
4．労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
5．開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

【環境方針】

『地球にやさしい企業』として、一人ひとりが自覚と責任を持ち、
環境保全活動に積極的に取り組み、SDGs（持続可能な開発目標）の
目標・ターゲット達成に貢献します。

1．地域社会とのコミュニケーションを大切にし、北海道の豊かな自然との共生と生物の多様性を保つための活動を積極的に推進します。



2．環境法令や協定、基準の遵守はもとより、地球環境の汚染予防及び継続的な改善を行い、地域のリーディングカンパニーを目指します。





3．環境影響を最小化するために、目的・目標を定め積極的に取り組みます。
①工場 CO_2 ゼロを目指し、日常改善･技術革新･再生可能エネルギー利用を推進します。
②ゼロエミッションを維持し、循環型社会の形成を推進します。
③生産活動の環境影響を評価し、環境負荷物質を低減します。







HOKKAIDO

【会社概要】

商　号	トヨタ自動車北海道株式会社 (TOYOTA MOTOR HOKKAIDO,INC.)
設　立	1991年 2 月 8 日
資本金	200億円
株　主	トヨタ自動車 (株) 100%出資
代表者	代表取締役　取締役社長　今井　光明
事業内容	自動車部品の製造
生産品目	ＣＶＴ、ハイブリッドトランスアクスル、トランスファー、鍛造部品
用地面積	103万㎡ (約31万坪)
建物面積	30.5万㎡ (約9.2万坪)
売上高	2,264億円 (2026年 3 月期)
従業員数	3,378人 (2026年 9 月 1 日現在)

【会社沿革】

1990年	2月21日	トヨタ自動車 (株)、北海道苫小牧市への進出を発表
1991年	2月 8日	**トヨタ自動車北海道 (株) 設立**
1992年	10月22日	**アルミホイールラインオフ**
1993年	6月21日	**オートマチックトランスミッション (A541) ラインオフ**
	9月 6日	竣工式 (創立記念日)
1994年	11月 7日	**トランスファーラインオフ**
1999年	6月26日	IS014001外部認証取得
	7月 8日	**オートマチックトランスミッション (U340　第 1 ライン) ラインオフ**
2001年	3月	ゼロエミッション達成
2002年	1月 1日	天然ガス使用開始
	5月15日	**オートマチックトランスミッション (U340　第 2 ライン) ラインオフ**
	9月 8日	**創業10周年記念式典**
2004年	8月 4日	勇豊会 (取引先協力会) 発足
2005年	12月 8日	第 4 工場 (機械工場) 竣工
		オートマチックトランスミッション (U660) ラインオフ
2006年	9月 1日	**CVT (K310　第 1 ライン) ラインオフ**
2007年	5月21日	**TMMWV向けオートマチックトランスミッション部品ラインオフ**
2008年	5月12日	**オートマチックトランスミッション (U340　第 3 ライン) ラインオフ**
	6月12日	第 5 工場 (鍛造工場) 竣工
2010年	7月23日	アルミホイール生産終了
2012年	9月 4日	**創業20周年記念式典**
	10月17日	**ハイブリッドトランスアクスル (P510) ラインオフ**
	10月	トヨタ自動車 (常熟) 部品有限会社に出資
2013年	6月 4日	**CVT (K310　第 2 ライン) ラインオフ**
2016年	2月19日	**CVT (K310　第 3 ライン) ラインオフ**
2018年	5月10日	**Direct shift-CVT (K120　第 1 ライン) ラインオフ**
2019年	10月 7日	**Direct shift-CVT (K120　第 2 ライン) ラインオフ**
2019年	12月23日	**ハイブリッドトランスアクスル (P910) ラインオフ**
2021年	2月16日	**Direct shift-CVT (K120　第 3 ライン) ラインオフ**
2022年	9月 5日	**創業30周年記念式典**
2024年	3月27日	**ハイブリッドトランスアクスル (PA10) ラインオフ**
2026年	2月 2日	**ハイブリッドトランスアクスル (PE10) ラインオフ**

HOKKAIDO

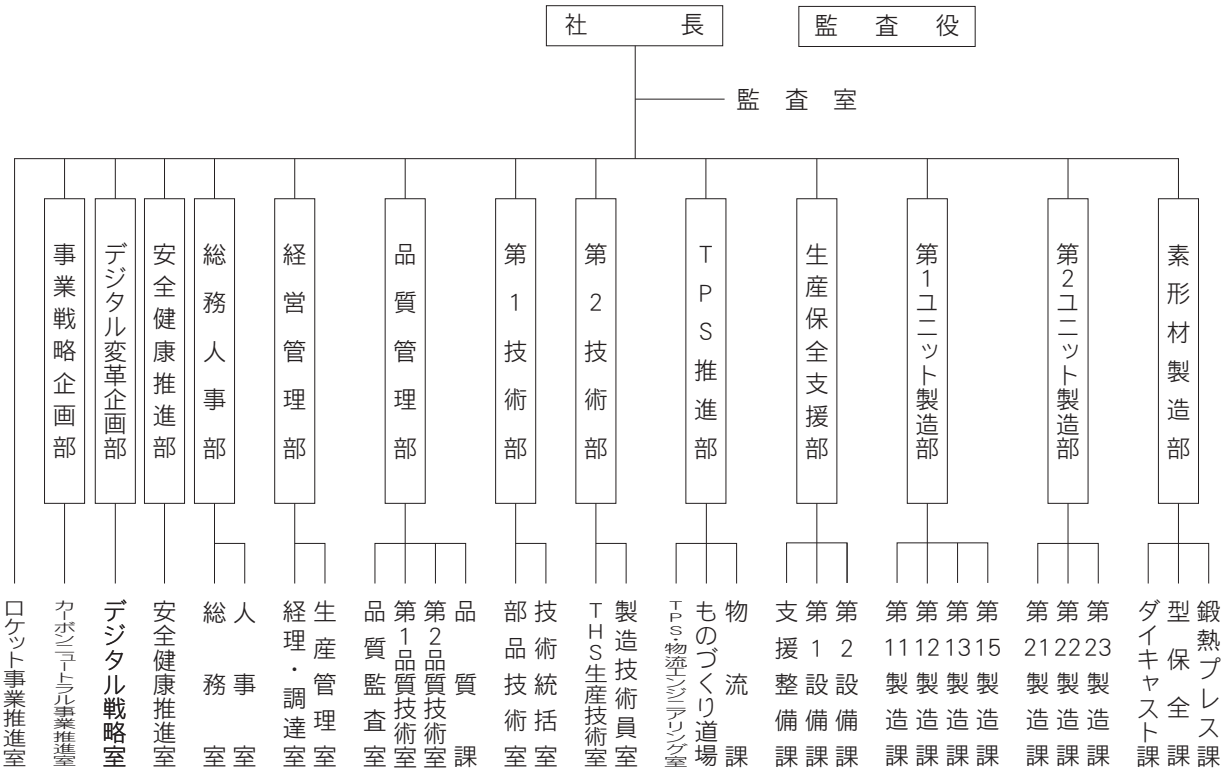
【役員】

（2026年10月１日現在）

代表取締役 取締役社長	今（イマ）	井（イ）	光（ミツ）	明（アキ）	
常務取締役	栗（クリ）	山（ヤマ）	武（タケ）	彦（ヒコ）	
取締役	秀（ヒデ）		正（マサ）	幹（キ）	
取締役	桧（ヒ）	垣（ガキ）	周（シュウ）	司（ジ）	
取締役	明（アカ）	石（イシ）	修（ノブ）	幸（ユキ）	
取締役	三（ミ）	浦（ウラ）	昭（アキ）	雄（オ）	
常勤監査役	諸（モロ）	貫（ヌキ）	秀（ヒデ）	雄（オ）	
監査役	新（シン）	郷（ゴウ）	和（カズ）	晃（アキ）	（非常勤）

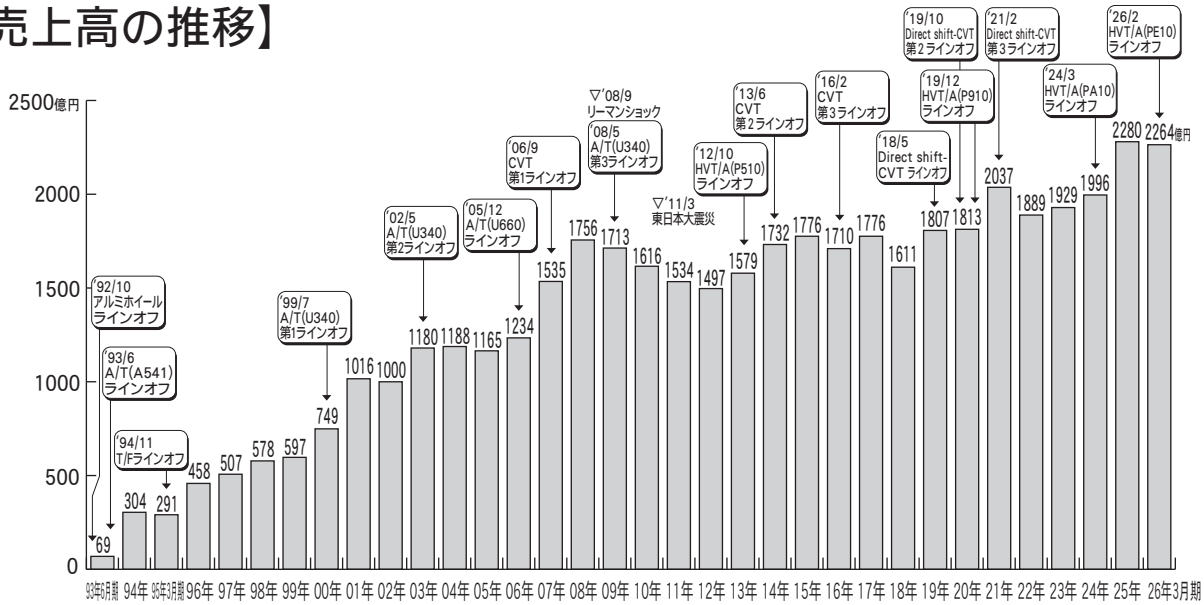
【会社組織】

（2026年10月１日現在）



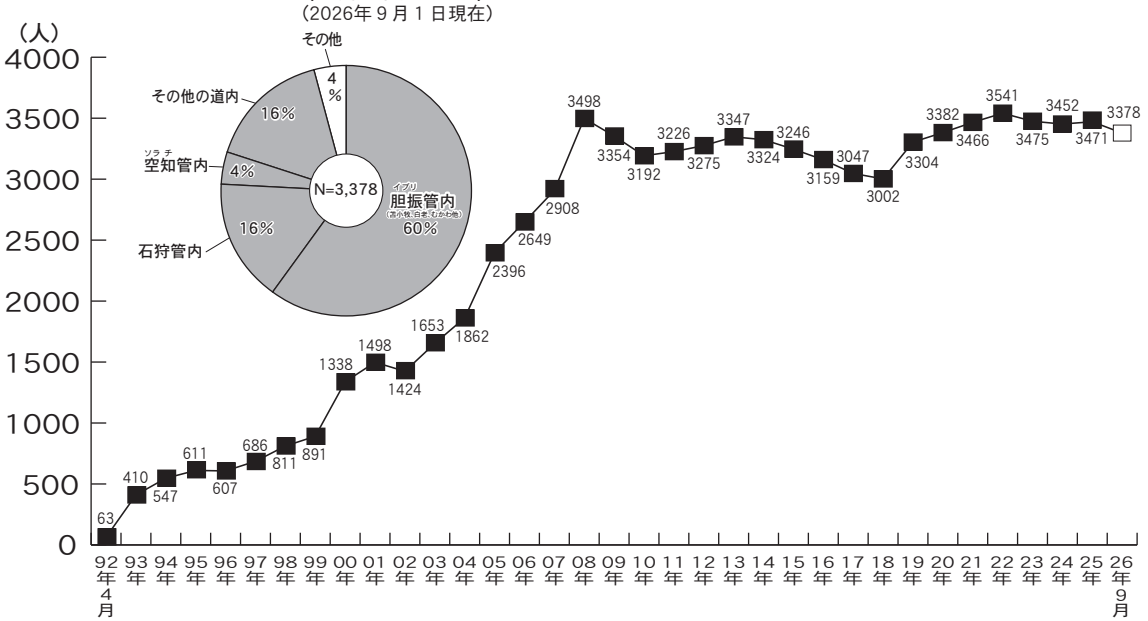
HOKKAIDO

【売上高の推移】



【従業員数の推移】

出身地別人員
(北海道出身96%)
(2026年9月1日現在)



(2026年9月1日現在)

	事務・技術	技　能	合　計	平均年齢
男	390	2,764	3,154	42.3
女	84	140	224	33.8
計	474	2,904	3,378	41.7

【勤務形態】

◎常昼勤務　8：00～17：00

◎2組2交替勤務　7：30～16：20（1直）
20：30～ 5：20（2直）

◎連続2交替勤務　6：00～14：50
14：50～23：40

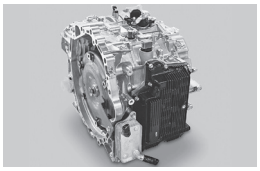
◎3組3交替勤務　7：20～15：55（1直）
14：10～22：45（2直）
22：45～ 7：20（3直）

◎3組2交替勤務　8：00～18：30（1直）
（4勤3休）　20：30～ 7：00（2直）

HOKKAIDO

【製品及び生産量】

CVT

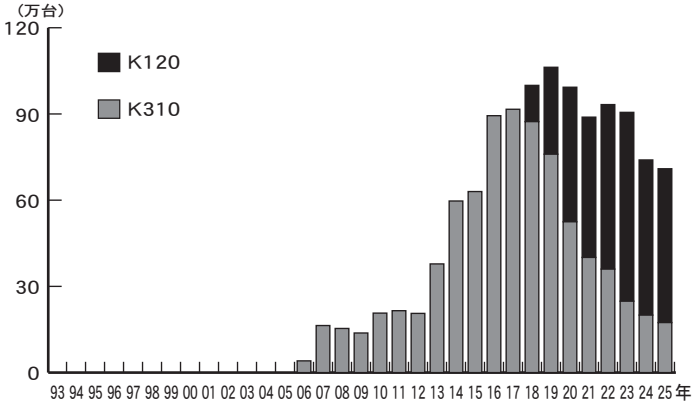


生産能力（K120）20,000 基／月
搭載車種：カローラクロス、RAV4、
カローラ、イノーバ

生産能力（K310）10,000 基／月
搭載車種：カローラクロス、カローラ、ヤリス、
プロボックスほか



カローラクロス



ハイブリッドトランスアクスル

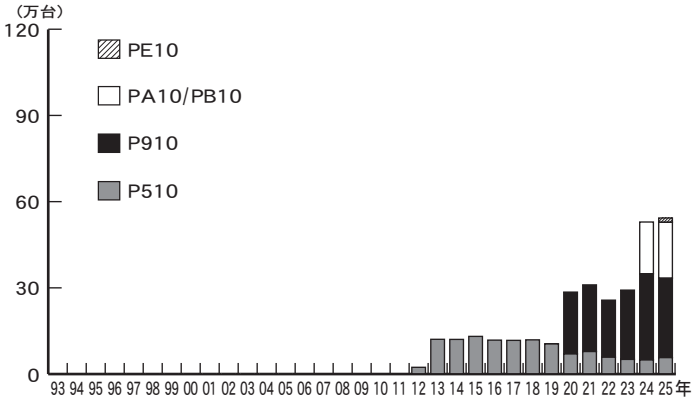


生産能力（PE10）20,000 基／月
搭載車種：RAV4、ES、シエナ

生産能力（PA10/PB10）20,000 基／月
搭載車種：カローラクロス、イノーバ、RAV4、
カローラハッチバック / ツーリングスポーツ、ES

生産能力（P910）20,000 基／月
搭載車種：シエンタ、ヤリスクロス、アクア、ヤリス

生産能力（P510）5,000 基／月
搭載車種：プロボックス、JPN TAXI





プロボックス



シエンタ



カローラクロス



RAV4

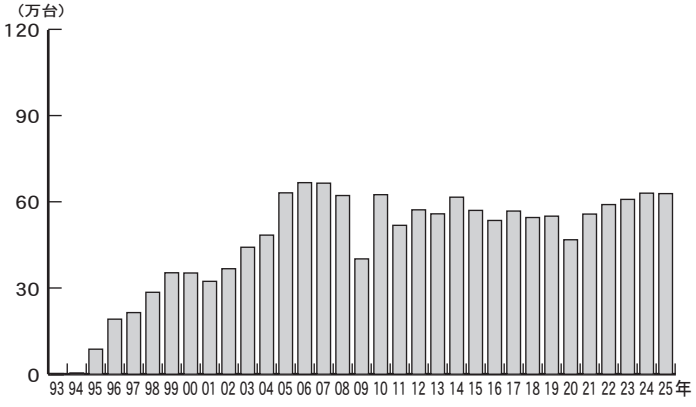
トランスファー



生産能力 53,000 基／月
搭載車種：ハイラックス、フォーチュナー、
4 ランナー、ランドクルーザー 250 ほか



ハイラックス

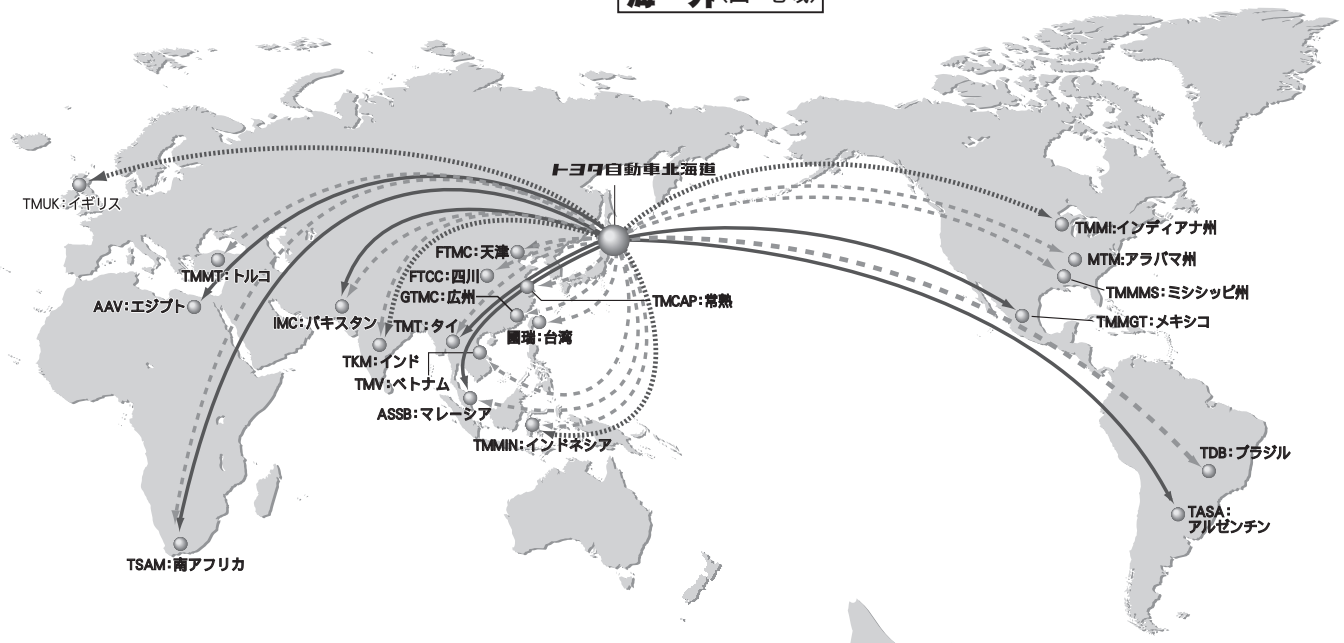


HOKKAIDO

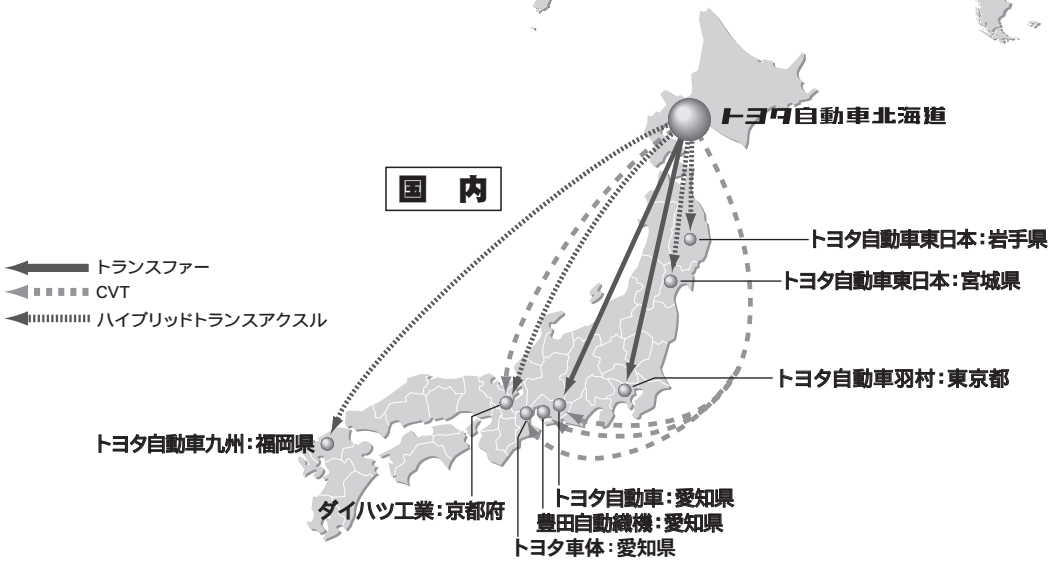
【製品出荷先】

（2026年９月１日現在）

海　外（国・地域）



国　内



【海外出向先】

（2026年９月１日現在）

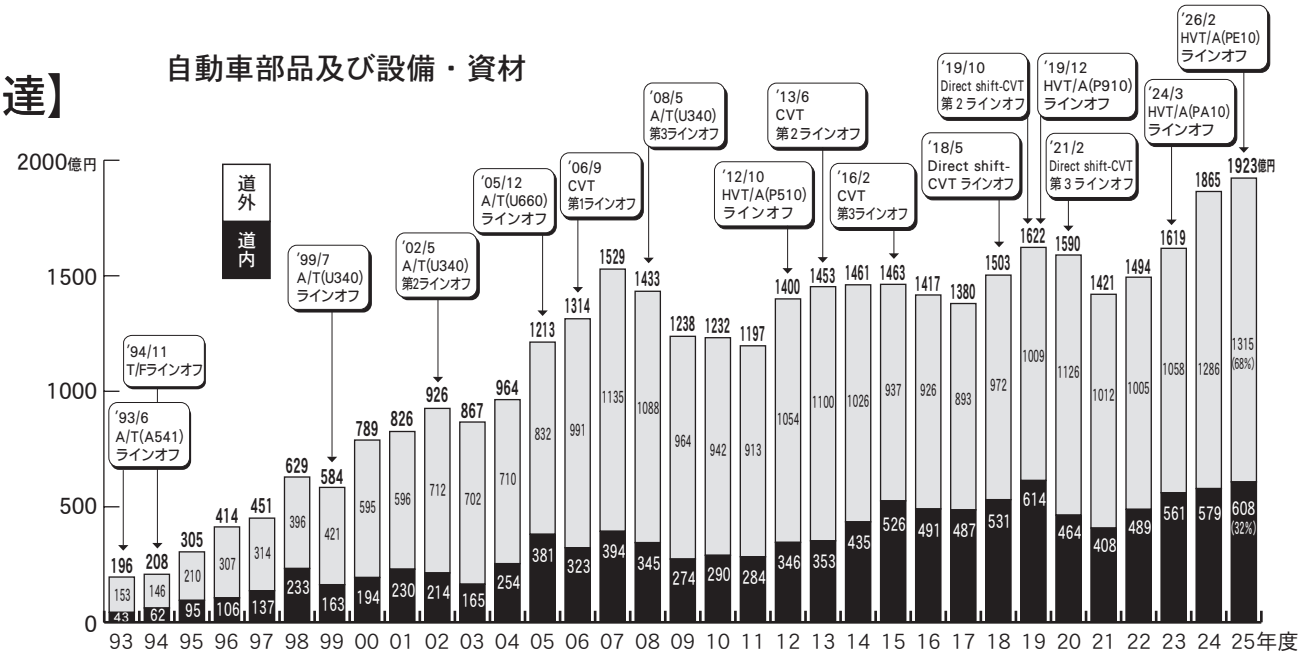




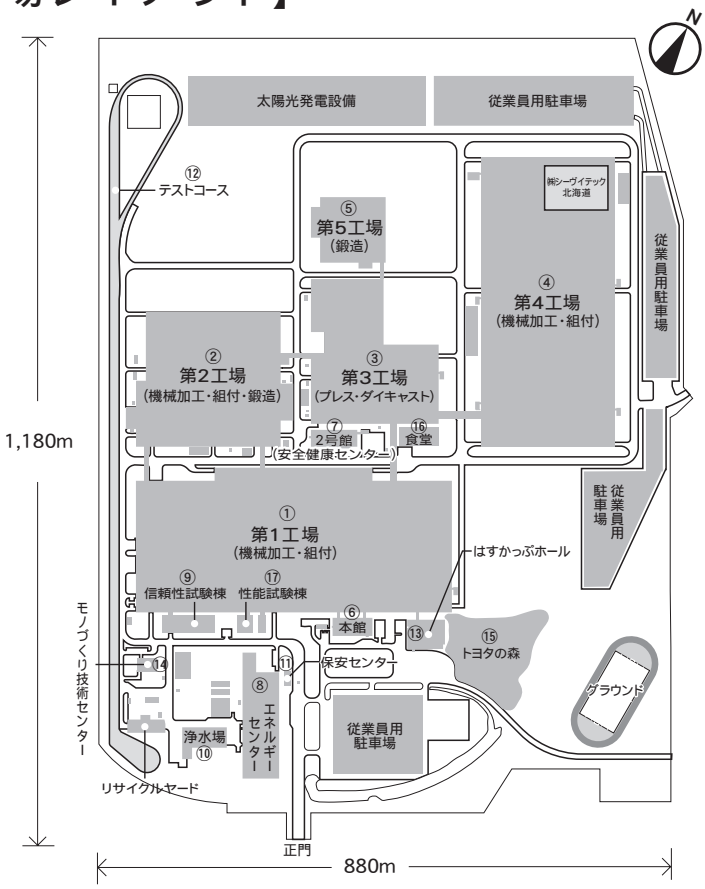
HOKKAIDO

【調達】

自動車部品及び設備・資材



【工場レイアウト】



① 第１工場（機械加工・組付）
② 第２工場（機械加工・組付・鍛造）
③ 第３工場（プレス・ダイキャスト）
④ 第４工場（機械加工・組付）
⑤ 第５工場（鍛造）
⑥ 本館
⑦ ２号館・安全健康センター
⑧ エネルギーセンター
⑨ 信頼性試験棟
⑩ 浄水場
⑪ 保安センター
⑫ テストコース
⑬ はすかっぷホール
⑭ モノづくり技術センター
⑮ トヨタの森
⑯ 食堂
⑰ 性能試験棟

用地面積	103万㎡（約31万坪）
建物面積	30.5万㎡（約9.2万坪）

名称	建物面積	生産品目・用途
第１工場	102,000㎡（220m×480m）	CVT、トランスファー、ハイブリッドトランスアクスル
第２工場	45,000㎡（200m×240m）	ハイブリッドトランスアクスル、鍛造
第３工場	34,000㎡（200m×220m）	プレス・ダイキャスト
第４工場	89,000㎡（200m×440m）	CVT、ハイブリッドトランスアクスル
第５工場	11,700㎡（100m×100m）	鍛造

【厚生施設】

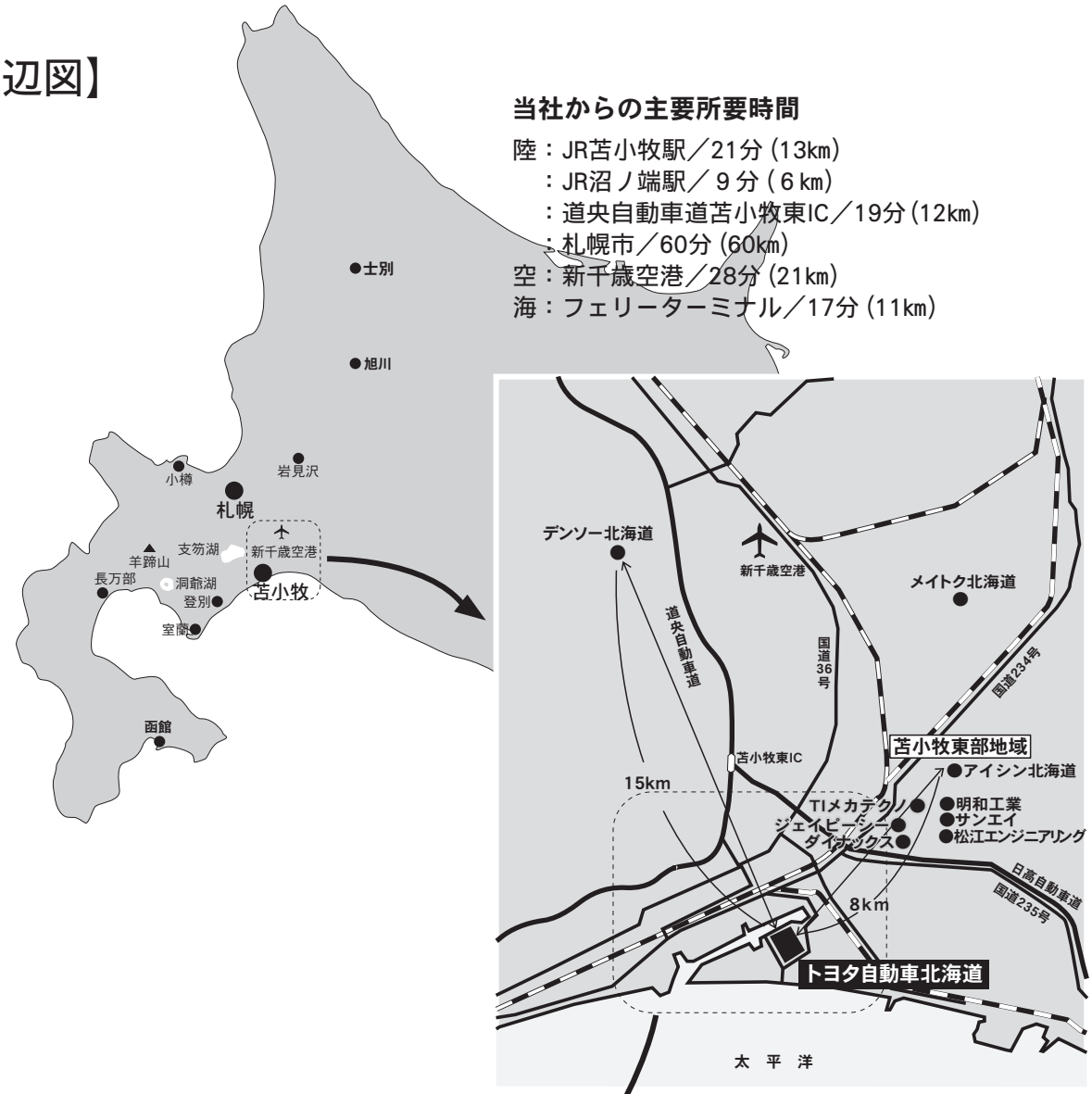
施設	内容
独身寮	名称：クレール美園（美園町）／全228室
女子寮	名称：ソレイユ東開（東開町）／全25室
運動施設	会社グラウンド（サッカー場・400mトラック） 高丘グラウンド（野球場・テニスコート2面）
多目的施設	はすかっぷホール（多目的ホール、研修室、展示コーナー他）

HOKKAIDO

【周辺図】

当社からの主要所要時間

陸：JR苫小牧駅／21分（13km）
　：JR沼ノ端駅／９分（６km）
　：道央自動車道苫小牧東IC／19分（12km）
　：札幌市／60分（60km）
空：新千歳空港／28分（21km）
海：フェリーターミナル／17分（11km）





HOKKAIDO

【環境保全活動】

	CO2 削減活動	資源循環活動	環境リスク低減	自然共生活動
1999			・ISO14001 認証取得	
2001		・ゼロエミ達成		
2004				・トヨタの森完成
2006	・天然ガスコージェネレーションシステム1･2号機導入			
2011			・クーラント材、アルミ溶湯処理剤の PRTR フリー化（～2012）	
2014				・緑化優良工場等「日本緑化センター会長賞」受賞
2013	・天然ガスコージェネレーションシステム3号機導入	・スクリュープレス機導入による排水汚泥量低減		
2016				・緑化優良工場等「北海道経済産業局長賞」受賞
2017		・廃液濃縮装置導入による廃棄物低減（～2019）		
2021	・コンプレッサー廃熱回収ターボ冷凍機導入 ・太陽光発電設置（パネル出力2, 720kW） ・デマンド調整用蓄電池設備導入 ・工場天井照明 LED 化完了		・鍛造離型剤のホウ素レス化	
2022	・天然ガスコージェネレーションシステム4号機導入 ・生産工程用蒸気レス達成（～2023） ・トランスミッション工場における低 CO_2 生産技術の推進と IOT 活用による省エネ活動により「資源エネルギー庁長官賞（産業部門）」受賞			
2023	・ESCO 道場立上げ、省エネ教育開始 ・苫小牧市の脱炭素先行地域採択（※当社は共同提案者として参画） ・再エネ電力メニューの導入			
2024	・製造現場主体の「みんなの省エネ」活動により、北海道エネルギー・新エネルギー促進大賞「省エネルギー部門」受賞			・環境省「自然共生サイト」認定【写真②、③】 ・トヨタの森リニューアル
2025	・福利厚生施設における水素専焼ボイラの実証導入【写真①】 ・ESCO 省エネ教育に「熱」教育を追加			・緑化優良工場等「経済産業大臣賞」受賞



①水素専焼ボイラ



②「自然共生サイト」に認定された工場緑地



③工場緑地で確認されたハルカラマツ（絶滅危惧Ⅱ類）

【社会貢献活動】

【環境】【交通安全】【人財育成*】【地域共創】を活動の４本柱として、
<u>地元苫小牧市をはじめ全道各地において</u>地域の皆様に喜ばれるよう活動

*人財育成：「人」は一人ひとりが多様で、かけがえのない力を持った存在であると捉え、その力を育むことを意図

【人財育成・地域共創】トヨタシグナス運営支援

女子アイスホッケークラブチームの運営を支援



第37回道新杯 女子全道アイスホッケー大会

【環境】TOYOTA SOCIAL FES!!

北海道新聞社やトヨタ販売店と連携して、一般参加型の地球環境保護・保全活動の運営をサポート



【旭川市 江丹別川】
特定外来生物ウチダザリガニの駆除活動

【交通安全】わくわく交通安全くらぶ

小学校に通い始める前の幼稚園児を対象に交通安全教室を開催



【札幌市 ちえりあ】
横断歩道練習

【地域共創】とまこまい港まつりブース出展

地元のお祭りに大人も子供も無料で参加できるレクリエーションブースを出展



【苫小牧中央公園】
組付体験ゲーム



【人財育成】なぜなにレクチャー

小学校高学年を対象にモノづくりの楽しさを伝える科学工作教室を開催



【北見市 ネッツトヨタ北見】
手作りハイブリッドカー

【人財育成】「トヨタ・マスター・プレイヤーズ，ウィーン」招待

当社およびトヨタグループが主催する世界的オーケストラに学生を招待し、演奏家と交流する機会を提供



【札幌市 Kitaraコンサートホール】奏者との対談コーナー

【人財育成】トヨタ未来スクール

道内各地の小学校でプログラミングや車と環境の関わりを体験形式で学ぶ出張授業を開催



【芦別市 上芦別小学校】
クルマまるわかり教室

【環境】植樹活動

道の掲げる「道民ひとり1本植樹・育樹運動」に賛同し、道主催の植樹祭に苗木を協賛
むかわ町では、2千本の苗木を植樹し、「トヨタ自動車北海道の森」として森林を整備



【むかわ町】トヨタ自動車北海道の森

はっかいどう 企業の森林づくり

工場見学受入

小学生から大人まで、年間約4千人以上のお客様を受入



ふるさと納税（特別工場見学、鋳造体験）

通常は見られない素形材工程から一気通貫の特別な工場見学やモノづくり鋳造体験が可能



HOKKAIDO

【部活動】

部	活動内容	主な活動実績
サッカー部	北海道サッカーリーグ道南ブロックリーグ所属	第23回道南ブロックリーグ大会 優勝 第61回全国社会人サッカー選手権 苫小牧地区予選 準優勝 第32回全国クラブチームサッカー選手権大会 苫小牧地区予選 優勝
野球部	軟式野球チーム（A級クラス）	北海道知事杯第22回北海道軟式野球選抜選手権 苫小牧支部予選 準優勝
駅伝・陸上長距離部	陸上長距離 道内の主なマラソン・駅伝大会に出場	ノーザンホースパーク駅伝（'22） 優勝 鵡川駅伝（'23） 準優勝 苫小牧ハーフマラソン（'23） 年代別優勝 伊達ハーフマラソン（'23） 年代別優勝
アイスホッケー部	苫小牧アイスホッケー連盟C級所属	第35回北海道新聞社杯争奪C級アイスホッケー大会 準優勝 第36回北海道新聞社杯争奪C級アイスホッケー大会 優勝


サッカー部


野球部


駅伝・陸上長距離部


アイスホッケー部

【苫小牧市の紹介】

変遷 大正7年（1918）町制施行
昭和23年（1948）市制施行

語源 以前、苫小牧川が流れる一帯を、当時の河川名であったマコマイ（アイヌ語で「山奥に入っていく川」）と呼んでいた。 沼のあった旧樽前山神社付近一帯はアイヌ語で沼の意味がある「ト」の字をつけて「ト・マコマイ」と呼ばれるようになり、今日の苫小牧になった。

市域 東西39.9㎞ 南北23.6㎞ 面積561.66㎢

人口 163,318人（男性：80,356人 女性：82,962人）〔2026年７月末現在〕

気象 夏は清涼な気候であり、冬は北海道の中でも降雪が少なく１年を通して快適な気候です。
2025年８月の平均気温は23.5℃・2026年１月の平均気温は－8.0℃
降水総量 1,217㎜・降雪量140㎝ 〔2025年総計〕

シンボル


木「ナナカマド」


鳥「ハクチョウ」


草の花「ハナショウブ」


木の花「ハスカップ」


貝「ホッキ」

HOKKAIDO

トヨタ自動車北海道株式会社

TOYOTA MOTOR HOKKAIDO,INC.

〒059-1393
苫小牧市字勇払145番1
TEL 0144-57-2121（代表）
FAX 0144-52-3184
https://www.tmh.co.jp/

発行年月：2026年10月

ホームページは
こちらから➡

リクルートページは
こちらから➡